

2014年1月25日(土) 「新春「府中寄席」三笑亭可龍の落語会」

新春恒例の「府中寄席」。今回ご出演いただいたのは府中市出身の若手落語家、三笑亭可龍さんです。可龍さんは当日のお客様の雰囲気や演目を決められます。前半の演目は最近の身近な話題から始めて入り込んでいく「初天神」。続いて後半の演目は「湯屋番」。おねだりをする子どもと女湯を覗きたい男、過度に欲望がエスカレートしていく様子を気持ちよくコミカルに噺されて、会場は絶えず笑いに包まれました。



「噺家の熱気が伝わってきた!」「可龍さんの寄席は何度か聴いていて、うまい人だと思っていました。府中の若手芸人、うれしいです。」「久しぶりに笑いました。」など、多くの楽しかったという感想を頂きました。「めったに落語をきく機会がないため、貴重な経験ができた。」と、今後も気軽に伝統芸能に親しみたいとの声もあり、この声を今後の落語会につなげていきたいと思っております。



多くの方にお越しいただいた会場の様子です。残念ながら、会場に演台は無く、出演者の方々にはご了解をいただいた上で上演していただいております。

落語をよく御存じの皆様には大変お粗末なもので申し訳ございません。

無料の上演会を行えるよう工夫を凝らしておりますので、ご理解をいただければ大変ありがたいです。